

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ドーナラボてだこ				公表日	令和8年5月29日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・広く活動できるスペースを作るように考えている ・児童が動きやすいように、必要な時には活動室のレイアウトを変更している ・工作エリア・PCエリア・卓球台を広げるスペースが確保されている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・休みの調整など相談しながら対応している	・たまに職員たりないと感じることもある(送迎等や個別対応が多い日など)	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・引き出しにネームプレートを表示し、利用者がわかりやすい様に可視化している。 ・室内は空間事にドア仕切りがある。バリアフリーを必要とする場合は台を設置するなど段差を無くす事は可能。	・床はコンクリート、相談室や給湯室などに入る時は段差があるので改善してほしい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		利用者が心地よく過ごせるように清掃消毒を行っている。利用者が安全に過ごせるように必要に応じて室内の模様替えを行っている。	・定期的な掃除や片付けなどをしているが、夏休みなどの長期休みは行き届かない時がある	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・中学生メンバーの交流ができる部屋がある ・活動や状況に応じて個室を使えるようにしている ・一人になりたい児童や、年齢差に応じて部屋を分けたりし、活動しやすいようにしている ・相談室の使用・敷居を設置して個別の空間作りが可能、安心して過ごせるようにしています。	・今年は感染症対策なども研修を入れたりしてさらに安全な空間を作りたい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		PDCAを意識しながら、日々情報共有を行い支援に繋がっています。	・プライバシーや安全に配慮しながらも、防音(消音)等で過敏な児童に配慮もしていきたい	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・保護者の評価表を元に会議等をしていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・さらに情報共有や支援を見える化できるようにしていきたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	・教育機関の生徒をボランティアで受け入れる際に学校からの事業所の評価を聞いている。	・第三者委員会を検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			・さらに職員の支援の質が向上するように内部外部問わずに、積極的に研修を開催していきたい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・プログラムごとに職員でアイデアを出し合ったり、児童のアイデアを採用するなどの工夫をしている		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		時々ではあるが、児童館などを利用している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・していないと思う</li> <li>・保護者会や活動参観などを取り入れたい</li> <li>・保護者同士の交流会を計画的にしていきたい</li> <li>・今年度実施する事ができなかった為、開催を検討したい。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明ができるように内容を把握するようにしている</li> <li>・体制の整備など、迅速に対応している</li> <li>・苦情はないが、あれば対応する</li> <li>・苦情があった場合は対応職員だけではなく、事業所内で改善に向け話し合いを行っている。</li> </ul>

明 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラインで報告</li> <li>・定期的に通信を発行し、活動内容や日程確認等に努めている</li> <li>・児童が楽しそうにしている姿や、お知らせなどを発行している</li> <li>・HP / SNSの更新・毎月「ラボ便り」を発行している。</li> </ul>	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい</li> <li>・これからも十分に留意していく</li> <li>・資料は鍵の掛かった場所に保管している</li> <li>・鍵付つきの棚に保管を行っている</li> </ul>	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・声かけを工夫している</li> <li>・情報量の整理、視覚的に工夫するなどして、要点をわかりやすく伝える工夫を行っている</li> <li>・LINEなどで配慮している</li> <li>・活動内容がわかりやすいように画像にメッセージを添えている。</li> </ul>	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・していきたい</li> <li>・地域の方を招待できるイベントを開催したい</li> <li>・地域住民との関わりをするために、公民館などに話を聞き、参加やイベントなどをしたい</li> <li>・地域住民を招待する場合は、利用者の意向も慎重に検討を行っていきたい。</li> </ul>
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練を行なっている</li> <li>・定期的に児童と避難訓練、マニュアルの周知の張り出しなどを行っている</li> <li>・マニュアルは見やすい位置に掲示している。</li> </ul>	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に訓練を行なっている</li> <li>・避難場所まで実際に歩いている</li> <li>・今年度も避難訓練を実施していく</li> </ul>	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規児童が入る前に職員で確認している</li> <li>・服薬等について把握している</li> <li>・メモなどすぐに見れるものに共有している</li> <li>・保護者からの情報共有を確認を行っている。</li> </ul>	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・しらべたり、保護者へきいたり</li> <li>・確認を行なっている</li> <li>・おやつなど、食べられるものの提供や、保護者へ確認などを行っている</li> <li>・医師の指示書はないが、保護者からの共有で対応を行っている。</li> </ul>	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修がある</li> <li>・ヒヤリハットを共有するなど安全管理を行なっている</li> <li>・避難訓練の後の反省会や備蓄用品、救護用品の点検</li> <li>・社内研修の実施を行いながら、利用者が安心安全に活動できるような支援を継続させていく</li> </ul>	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知している</li> <li>・事業所内で確認し、ご家族へ周知できるように対応していきます。</li> </ul>	・デジタルではなく、すぐに連絡が取れるように、紙などに連絡先などをつくりたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・していると思う</li> <li>・ヒヤリハットを共有し、より安全に活動できるよう努めていく</li> <li>・次回はもう少し早く改善している</li> <li>・ヒヤリハット作成と口頭でも情報共有を行い、話し合いに努めています。</li> </ul>	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修への参加を行なっている</li> <li>・児童に周知できるようにポスターを貼っている</li> <li>・例年、社内研修で実施し話し合いに努めています。</li> </ul>	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・これからも組織的決定と子ども、家族への理解を得た上で記載を行なっていく</li> <li>・記載しているかはわからないが、身体拘束についての研修は受けた</li> <li>・社内研修を実施し話し合いに努めています。</li> </ul>		